

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

電話：096-288-0005

HP：<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

メール：kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp

■ ■ 第 16 回文部科学大臣杯 小中学校囲碁団体戦全国大会

■ ■ 第 40 回文部科学大臣杯 少年少女囲碁全国大会

7月28日から31日まで東京の日本棋院本院にて小中学校団体戦と少年少女囲碁大会の全国大会が開催され、今年も全国の精鋭達が集い夏より熱い戦いが繰り広げられました。

大会期間中は台風の接近もあり心配しましたが、無事参加できて良かったです。団体戦では**東町小学校が二勝一敗、常山中学校も二勝一敗**でしたが、最後の3回戦目であと1人勝てれば枠抜け（全国8位）という惜しい結果でした。しかし、この悔しさはきっと来年の戦いに繋がるものと思っています。

両校共に負けた相手は枠抜けした学校でしたので、熊本の子供達が打つ囲碁は全国のトップレベルに近いと感じました。

個人戦では **宮本将伍君**（尾ノ上小6年）が **全国6位** という素晴らしい成績を残してくれました。

栗山君、五師君、息子の直大も強豪ばかりの相手に頑張りました。

大きな大会に何回か出場させて頂く事で、知ってる名前や顔と度々遭遇するようで、その度にお互い意識したり、結果が気になるようです。選手それぞれが様々な思いや考えを抱き、それが更なる成長に繋がっていくものと思います。 廣末直大の母

宮本将伍君の感想

僕は、少年少女囲碁大会に出場してきました。大会では、とにかく盤面のみに集中するように心がけ、「これに勝ったら」「次、勝ったら」ということは考えないようにして対局しました。初戦が一番緊張しましたが、勝てた後は、2戦目以降落ち着いて打つことができ、6位入賞することができました。また大会では、全国の友達と再会して、一緒に楽しく過ごすことができ、とても嬉しかったです。

これからも、もっと頑張って良い成績を残していきたいです。応援ありがとうございました。



団体戦熊本代表 常山中学校の3名



全国6位入賞を果たした宮本将伍くん



団体戦熊本代表 東町小の3名

■ ■ 國松聡君（託麻原小 5 年）が県内の一般棋戦で連続優勝!!

8 月 1 8 日（日）日本棋院熊本県本部に於いて第 4 7 回熊本県最強位戦が開催されました。
出場者は 2 0 名。大人の県代表クラスの強豪も出場する中、國松聡くんが見事 5 回戦を勝ち抜き、優勝に輝きました。
本大会における**小学生の優勝**は、前例があるのかすら詳しく調べてみないとわからないほど珍しいとのこと。

＜くそして、國松聡くんの快進撃はこれにとどまりませんでした！！＞＞

9 月 1 5 日（日）に同じく日本棋院熊本県本部で開催された第 5 6 回しんぶん赤旗全国囲碁大会の熊本県大会に出場した國松聡君は、小学生のライバルや大人の強豪を相手に 5 連勝で優勝し、**熊本県代表**になりました。

代表になった國松くんは 1 1 月 9 日 1 0 日に東京都で開催される全国大会（赤旗名人戦）に出場します。一般のアマチュア棋戦の全国大会に小学生が代表として出場することは、全国的にも珍しいことです。熊本県の囲碁民を代表し國松君らしい力強い碁を打って、さらなる成長を遂げて帰ってきてくれることを期待したいですね。

國松聡くんのコメント

とても強い格上の先生方と、普段できない互先で対局できることが嬉しくて、僕は過去にないくらい一手一手考えに考えて打ちました。貴重な体験だったし、大変勉強になりました。いっぱい考えたけどボカもあったし、形勢が悪い碁もあったので、初心を忘れずに、常に良い碁が打てるようにもっと頑張ります。

熊本県最強位戦で優勝！



しんぶん赤旗囲碁大会熊本県大会で優勝！！



■ ■ 高校九州大会熊本県予選

9 月 7 日水前寺共済会館で第 3 回全九州高等学校総合文化祭囲碁部門熊本県大会・第 3 4 回全九州高等学校囲碁選手権熊本県大会が開催され、以下の結果になりました。

団体戦

優勝 熊本高校（主将：渡邊行洋 副将：田浦昇英 三将：南健斗）

準優勝 熊本学園大学付属高校（主将：吉田薫 副将：本田祥太郎 三将：田上貴大）

個人戦

男子

優勝 真和高校 水谷勇斗

準優勝 熊本マリスト学園高校 河野圭悟

女子

優勝 文徳高校 芦田華

準優勝 第二高校 畑中真菜

※入賞者は 1 2 月 1 4.1 5 日に宮崎で開催される九州大会に出場します。

■ 第 30 回熊本子ども囲碁交流大会

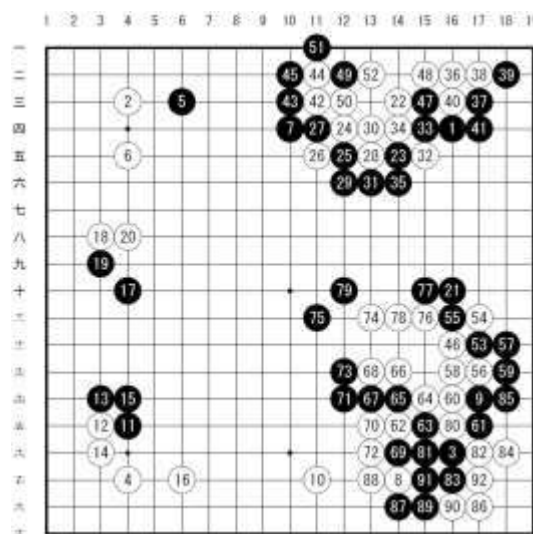
7月21日（日）熊本市火の君文化センターにて第30回熊本子ども囲碁交流大会が開催され、**112名**が出場しました。
全勝者は以下の通りです。

全勝者

米田伊吹(人吉西小 6)	島田康平(大田郷小 5)
野村和正(黒髪小 6)	高田聖仁(西原中 1)
野元優音(八代中 1)	吉野 佑(飽田南小 1)
高田桂誠(熊大附属小 1)	田中雅輝(山ノ内小 3)
馬場紳輔(尾ノ上小 5)	矢根楽久(尾ノ上小 6)
新井柊平(日吉小 4)	太田到磨(健軍東小 6)
高山水樹(広安小 5)	山本継太郎(奥古閑小 2)
井上結翔(託麻南小 6)	高木統牙(敬愛幼稚園)
新井純平(日吉小 2)	檜垣奏太(人吉東小 4)
蛇島優衣(杉上小 2)	百田 結(城山小 3)

交流戦の棋譜 結果：白番勝ち

黒番：上村光輝（人吉東小 3 年） 白番：吉田達也（東町小 5 年）



コメント：序盤から黒の攻めが強烈で、白は劣勢に追い込まれたが、
一瞬のスキを突いた白 80 から黒石を取って逆転した。

内田直也 名誉肥後本因坊碁聖

■ 第 7 回 R K K 少年少女囲碁将棋大会

8月10日（土）くまもと県民交流会館パレアにて第7回 RKK 少年少女囲碁将棋大会が開催され、**トーナメントの部に 6名・交流戦の部に 108名**が出場しました。午後はプロ棋士の鶴山淳志八段や内田直也名誉肥後本因坊碁聖による指導碁も行われ、成長するためのアドバイスを受けてやる気が溢れ出している子供もいました。入賞者と全勝者は以下の通りです。

決勝戦の棋譜 結果：白番勝ち

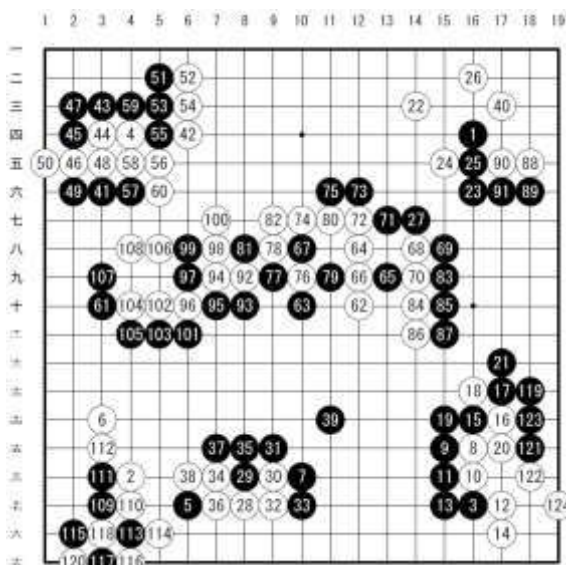
黒番：宮本将伍（尾ノ上小 6 年） 白番：米田伊吹（人吉西小 6 年）

トーナメントの部

優 勝	米田伊吹（人吉西小 6 年）
準優勝	宮本将伍（尾ノ上小 6 年）
3 位	國松 聡（託麻原小 4 年）

交流戦の部「全勝者」

上村愉唯(帯山中 1)	高田笙真(附属小 3)
國松 慶(託麻原小 2)	徳永うた(附属小 3)
築地怜旺(附属小 2)	福田慈英(尾ノ上小 6)
上村英太郎(白山小 4)	馬場紳輔(尾ノ上小 5)
太田到磨(健軍東小 6)	高山水樹(広安小 5)
田中瑞輝(山ノ内小 5)	新井純平(日吉小 2)
檜垣奏太(人吉東小 4)	高山優之介(広安小 3)
島崎宇未(山ノ内小 4)	高山早士郎(広安小 1)
小峯みなみ(清水小 2)	伊藤美貝(杉上小 4)



コメント：中盤までは互角の展開。左下隅でコウが発生したが、
黒 123 に対する白 124 が好手でそのまま白が押し切った。

内田直也 名誉肥後本因坊碁聖

■ 第1回熊本上海友好子ども囲碁交流大会

7月26日（金）に第1回熊本上海友好子ども囲碁交流大会が、熊本市役所観光政策課、上海囲碁協会の後援を頂き、熊本市役所で開催されました。今回の大会は、3月に上海から市役所を通して申込があり実現しました。

熊本チーム上海チームともに8名の参加で、上海の子どもたちは11歳から17歳の初段から1級、熊本の子どもたちは5つの教室から小中学生3段から2級であり、オール互先先番6目半コミ出しの3回戦を行いました。

結果は、団体勝敗2勝1分け、個人勝敗14勝10敗で**熊本チームが勝利**しました。

持ち時間30分の対局は、日ごろの実力を出し切りたいとの思いで、一生懸命に対局する姿が、とてもさわやかに映りました。楽しく有意義な交流大会となりました。参加した子ども達も夫々の実力が分かり自信と目標が出来たのではないかと思います。この大会にご尽力を頂きました関係者の皆様に、この紙面をお借りし、心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

熊本子ども囲碁普及会副理事長 宮川秀樹

今回の交流大会では、通訳を介しての挨拶等に、子ども達は戸惑い緊張していましたが、対局が始まると、いつもの真剣な対局風景でした。ところが、上海の子どもがアゲハマ（取った石）を相手の碁笥に入れてくるのに熊本の子どもたちはビックリ。直ぐに上海の子どもに返していました。実は終了時の地の数え方が、日本と中国で違い、中国ルールだとアゲハマを相手の碁笥に返すのです。

今回は、日本ルールで地を数えることにしていましたので、終了時は、慣れない上海の子どもの手が止まったままの中、熊本の子どもが手伝ってテキパキと双方の地を数えていました。しかし、上海の子どもには、地だけ数える意味が分からないようで、通訳と上海棋院の方が理解したうえで、結果を子ども達に教えていました。また、熊本の子ども達が、終了後の挨拶で「謝謝」と中国語で言って手を合わせてお辞儀をしていたのは、印象的な微笑ましい風景でした。

今回の成果は、言葉が通じないなか囲碁を介して楽しい会話ができたことです。更に友好の絆が深まり相互交流出来るようになることを期待したいですね。熊本の子ども達の成績は、以下の通りです。

熊本子ども囲碁普及会理事長 福間喜一郎

対局結果

上田健心（東町小5年、3勝）	吉田達哉（東町小5年、3勝）	堀口真由美（藤園中1年、2勝1敗）
高田笙真（附属小3年、3敗）	黒澤大寛（力合小6年、1勝2敗）	野村和正（黒髪小6年、2勝1敗）
高木丈翔（出水南中1年、1勝2敗）	岡 俊昌（出水南小5年、2勝1敗）	



盤上で言葉を交わす子どもたち



「もっと強くなってまた会おう」と記念撮影

■ ■ 中国ルールでの終局と計算（参考）

終了時の地の数え方は、日本と中国で違いがあります。

【日本ルール】は『地－取られた石』を数えるので、いかに大きな地を囲うかを競うゲームと言えます。

【中国ルール】は『地＋盤上の生きている石』を数えるので、いかに多く自分の石を置くかを競うゲームです。

したがって、中国ルールでは、ダメも1目の価値があります。でも、対局中のアゲ石や盤上の死石は、計算過程では盤外に除外されます。だから上海の子どもは取った石（アゲ石）を相手の碁笥に返したのですね。そして、勝敗は、白黒どちらか一方を数えます。数え方は、まず地を整地して数え、次に生石を整理して数え合計します。

・19路盤では総目数は361目なので、半分は180目半です。だから181目以上で勝ちです。黒石を数え181目の場合、黒の0.5（半）子勝です。中国では「子」と言います。

・互先の碁で先番6目半コミ出しは、中国ルールでは3.25（3子1/4）子コミ出しとなります。黒を数えた結果が187目の場合、日本風に数えると白は174目（361-187）で、盤面では黒白の差は13目ですから、コミを差し引くと黒の6目半勝ですが、中国ルールでは、3.25子（187-180.5-3.25）黒の勝です。

・セキは、双方生きてるので数え、共通ダメ場は折半します。つまり、眼のないセキの共通ダメ場は2目ですから折半して各1目と計算し、白黒1眼のセキの共通ダメ場は1目ですから折半して各半目と計算します。

読者の皆さんは、中国ルールで打つことはないと思います。中国から伝わった囲碁なのに、いつからルールが分かれたのでしょうか。不思議なことに中国ルールで打つ人は、中盤の形勢判断は日本ルールで計算しているようです。興味深いですね。

理事長 福間喜一郎

■ ■ 囲碁体験教室と一新こども囲碁祭り

熊本市子ども文化会館と共催で始めた『子ども囲碁体験教室』も今年で8年目。年に1回、8月が基本ですが、参加希望者が多い年は3ヶ月で6回開催したこともあります。今年は8月22日（木）に初心者小学生12名が参加。最初とまどっていた子どもたちも、石取りゲームに興味を示しました。90分の囲碁体験をした子どもたちが、どこかの教室の門を叩いてくれることを願っています。

8月31日（土）は一新子ども夏の囲碁祭りを、段山八幡宮社務所で開きました。教室を卒業した中学生2名も参加し、6名の講師、スタッフ合計23名が参加。子どもたちは、講師・先輩の指導碁も含めて一人4局、上野君と前田君が全勝。和気あいあいとした夏の囲碁祭りでした

一新こども囲碁教室 会長 毛利秀士



子ども囲碁体験教室



一新こども囲碁祭り

■ 第 2 回九州のへそ阿蘇囲碁合宿

8月23, 24日、国立阿蘇青少年交流の家においてヒカルの碁阿蘇教室（藤崎幸次郎）主催で囲碁合宿が開催され、囲碁漬けの二日間を過ごしました（子ども、保護者計38名）。あいにくの雨でしたが、雨がやんだ時間にスイカ割り。美しい緑の丘でディスクゴルフもできました。

初日はトーナメントでペア戦。負けたチームの子どもたちは先生の指導を受けたり、自由対局を行ったりしました。大分から来ていただいた3人の指導者はかつての藤崎先生の教え子でネット大会で全国制覇したこともあるアマ強豪の方です。

入門の保護者も全員名前札を付け、札には棋力は段、級ではなくレベル（初段は10・1級は11）が振り分けられており、対局する時はそのレベルによってハンディをつけます。また札の裏は対局の結果をつけるようになっていて〇×を書くのではなく、青と赤の小さいシールを貼ります。優しい配慮だなと感じました。

阿蘇青少年交流の家では夜のつどい、朝のつどいがあり他にも食事の時間、入浴、消灯時間も決まっていますが、子どもたちはのびのびと過ごしました。

最後は27局対戦した最多対局者、最高勝率者、ペア戦優勝者などおおきなスイカの賞品を手にし、来年の再会を約束しました。

熊本子ども囲碁普及会 西山育子



ペア碁や指導碁で囲碁三昧



みんなの声を頼りにスイカ割り



大草原の中心で囲碁を叫ぶ



賞品に喜ぶ子供を見て喜ぶ藤崎先生

■ 囲碁の第 44 期名人戦の挑戦者決定リーグ戦は

囲碁の第44期名人戦の挑戦者決定リーグ戦は、プレーオフの結果、若干19歳の芝野虎丸七段が河野臨九段を破り、初の七大タイトル挑戦を決めた。と同時に、名人挑戦で八段昇段を果たした。芝野八段は、平成26年14歳で入段、翌27年二段、28年三段、そして29年には、全棋士が参加する第26期竜星戦で優勝し、七段昇段(2年11ヶ月は最短記録)を達成。この年は、他にも第42期新人王戦優勝、第73期本因坊戦リーグ入り、第43期名人戦リーグ入りと華々しい活躍で、棋道賞新人賞、最多勝利賞、最多対局賞、連勝賞などを受賞している。平成30年には、第4回日中竜星戦で現在、世界最強と謳われる中国の柯潔九段に中押し勝ちしての優勝、世界を狙える若手棋士の筆頭である。令和に入っても、第10回おかげ杯優勝と快進撃が続いている。名前は戦国武将を彷彿させるが、細身でしぐさや口調はあどけなく虎と言うよりまるで子猫で、ファンやプロ棋士仲間からは「虎ちゃん」の愛称で親しまれる（先日NHK杯で解説の趙治勲名誉名人が虎ちゃんベタ褒めでした）。だが、一旦戦いとなれば、名前の通り猛虎に変身し、切れ味鋭く相手を負かす。これまで、対張栩名人との対戦成績は芝野挑戦者の4勝1敗である。晴れの檯舞台で一気に頂点に上り詰めるか、はたまた張栩名人がタイトルホルダーの貫録を見せて一蹴するか、今から熱戦が期待される。ここ暫くは芝野虎丸八段から目が離せない。

※参考までに、芝野龍之介2段は実兄、お母様は熊本（山都）出身です。

熊本子ども囲碁普及会 監事 後藤渉

■ ■ 大分に行ってもずっと囲碁を楽しんでいます！

3年前に熊本から大分に引っ越した自見英恵ちゃんが学校の課題で書いた作文を紹介します。

私は、5歳から囲碁を始めました。週に4日2時間囲碁クラブに通いました。3年前に熊本地震により大分に引っ越してきて、今は週に2～3回いろんな教室に通っています。私が囲碁で学んだことは、5つです。**1つ目は勝負は公平**ということです。囲碁は黑白順に打ちます。強い相手には置石を置き、弱い相手にはコミをあげて、誰とでも打つことができます。**2つ目は先を読む力**です。囲碁は、相手の打ってくる手、一手一手をしっかり考えて打ちます。日常生活でも、こういうことを言うと相手はどんな気持ちになるかを考えます。これも囲碁で学んだ先を読む力だと思います。**3つ目は全体を見る力**です。夏休みにあった家庭訪問の時に、先生が、クラス全体をよく見て、みんなに声をかけることができる学級委員としてクラスをよくまとめてくれましたと、褒めてくれました。改めて囲碁の力だなと確信しました。囲碁は盤面全体を見ないといけないからです。**4つ目は心遣い**です。囲碁は世代を越えて仲良くなれます。私は幼稚園生から九十代のおじいさんとも打っています。対局の始めと終わりは必ず挨拶をします。教えてもらうことで相手を考えることの楽しさを学びました。**5つ目は集中力**です。対局は長い時は1時間弱かかります。熊本の囲碁の先生には「囲碁体力がある」と言われました。おかげで学校の授業をしっかりと聞くことができます。大会でコミが外れて負けた時は、本当にくやしけれど、勝ち抜いてトロフィーをもらった時はとても嬉しいです。そしてこれからも頑張るぞというやる気が湧き出てきました。囲碁で学んだことを日常生活に活用していきたいです。最近は夜ごはんの後に弟や妹と打つのが楽しいです。ですが、まずは初段を目指しています。いつの日か熊本の友だちと全国大会で再開し、対局できる様に強くなるよう囲碁を続けていきたいです。勉強も囲碁も根気良く続けていこうと思います。

震災に負けず、ずっと囲碁を楽しみ続けてくれてとても嬉しく思います。囲碁の魅力を再認識させてくれる素敵な作文でした。

■ ■ お知らせ

第31回熊本子ども囲碁交流大会

日 時：11月16日（土）受付 9：00～

場 所：熊本市火の君文化センター

参加費： 無料

申込先：各教室、一般の方は事務局まで

申込期限：11月1日（金）

第24回熊日青少年囲碁の集い

日 時：12月22日（日）受付 8:30～8：50

場 所：熊本日新聞社

参加費： 500円

申込先：各教室

申込期限：12月17日（火）

花まる学習会杯第23回ジュニア本因坊九州地区熊本大会

日 時：11月16日（土）受付 9:00～

場 所：熊本市火の君文化センター

参加費： 500円

申込先：各教室、一般の方は事務局まで

申込期限：11月8日（金）

熊本子ども囲碁研鑽会

日 時：10月19日（土）10:00～12:00

11月 9日（土）10:00～12:00

12月14日（土）10:00～12:00

対象：県内在住の小中学生5級以上

場 所：熊本西囲碁教室

参加費：500円

申込先：熊本西囲碁教室（板井）090-6779-5250

※お知らせは、ホームページにも公開しているので、ご確認ください。

ホームページでは、本誌およびバックナンバーもカラーで見ることができます。

アクセスは、「熊本子ども囲碁普及会」で検索してください。（[URL:http://www6.plala.or.jp/kumamoto/](http://www6.plala.or.jp/kumamoto/)）

＜編集後記＞ 息子と一緒に囲碁を始めて早6年。『初段になる!!』と言い続けてきたので、やっと初段になりました。次は『五段になります!!』（上村）

■ ■ 会員一覧

主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますようお願い申し上げます。

＜法人会員＞

熊本電気鉄道（株）・（株）セーフティガード・ルンビニー幼稚園・（株）熊本放送 R K Kカルチャーセンター・
（有）草野企画・広瀬ヴァイオリンスクール・（税）岩本・神毛会計事務所

＜個人会員＞

長田幸基・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・川口雄一・田口信夫・風口英利・徳尾芳道・徳尾幸子・
上野剛彦・奥村拓司・新道哲也・下地明友・下地君代・鶴山繁實・石塚正司・駒崎照雄・松尾孝・
八塚敬子・竹屋純子・河原田隆・田坂照夫・坂田祇彦・江富佑子・毛利秀士・坂口信春・坂口仁寿・
坂田敏昭・定永道明・安田節爾・奥園惣幸・大河内俊子・ジャイルス仁美・志垣裕二・池田篤郎・中拂達・
野崎照・中村寛・倉田千佳子・寺本博明・藤川雅朗・藤崎幸次郎・宮本典明・瀬口良三郎・福間喜一郎・
宮川秀樹・佐村雄二・西山浩介・西山育子・古家守・鎌田聡・安川俊文・松岡俊夫・野村英生・
副島真一郎・片岡不可止・市来信子・森俊博・中野昭二・永野昭人・平山博子・重野由紀・
磯谷重和・五師功仁（敬称略）

■ ■ 各地の教室・・・（アイウエオ順）

- R K Kカルチャーセンター子ども囲碁講座（熊本市東区長嶺 096-383-3900）
- 囲碁サロン三連星☆（熊本市中央区渡鹿 070-5819-8216）
- 一新こども囲碁教室（熊本市中央区新町 096-352-7639）
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室（熊本市東区尾ノ上 096-340-8731）
- 上通子ども囲碁教室（熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005）・・・11月から水道町今村教室に移転します
- 京塚子ども囲碁教室（熊本市東区京塚 096-383-5492）
- 熊本母と子の囲碁教室（熊本市東区下江津 096-370-2263）
- 熊本西囲碁教室（熊本市西区城山大塘 090-6779-5250）
- おやこ囲碁交流会（熊本市南区出仲間 080-3376-0407）
- 佐土原子ども教室（熊本市東区佐土原 096-367-1707）
- 日本棋院玉名支部教室（玉名市岩崎 0968-74-4968）
- 日本棋院人吉球磨支部教室（人吉市城本町 0966-28-3111）
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」（阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045）
- 松尾東子ども囲碁教室（熊本市西区上松尾 096-329-6951）
- 城南こども囲碁教室（熊本市南区城南町阿高 779-14 0964-27-7505）
- 武蔵ヶ丘コミセン子ども囲碁教室（菊池郡菊陽町光の森 1丁目 3517 番地 3 096-232-5697）